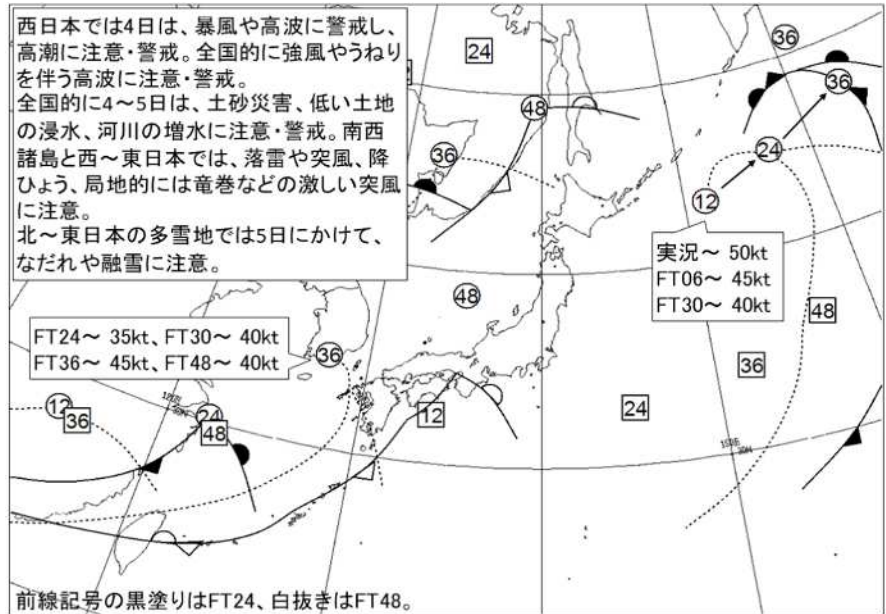


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5400m付近の寒冷渦に対応する低気圧が三陸沖を東北東進し、前線が小笠原近海や日本の南にのびている。北日本では、やや強い風や3m以上の高い波を観測。北海道地方では3時間5cmの降雪を観測。
- ② 本州付近を通過中の上層トラフに対応し、2日21時の輪島では、500hPa -27.1℃を観測。
- ③ 500hPa 5700~5760mの強風軸対応の前線が華南にのびている。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、3日夜にかけて千島の東に進む。低気圧の影響で強い風が吹き、波がうねりを伴い高くなる所がある。北～東日本では3日は、強風や高波に注意。
- ② 1項②の上空の寒気を伴うトラフの影響で、局地的に対流雲が発達し発雷の可能性があるので留意。
- ③ 1項③の前線上に発生する低気圧が500hPa 5580m付近のトラフの接近に伴い発達しながら、4日朝には対馬近海に進んで閉塞。その後、低気圧は前線から切り離されて日本海を東北東進し、5日朝までに不明瞭化。前線は5日にかけて西日本や東日本太平洋側を東進して日本の東に進み、日本の南や南西諸島付近を通って南シナ海にのびる。低気圧や前線の影響で強い風や非常に強い風が吹いて波が高くしけとなり、高潮となる可能性もある。西日本では4日は、暴風や高波に警戒し、高潮に注意・警戒。南西諸島と北～東日本では強風や高波に注意・警戒。前線や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。全国的に4～5日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。西日本では4日は、南西諸島では5日にかけて、東日本では4～5日は、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 4～5日は、500hPa 5340m付近のトラフに対応する低気圧が、中国東北区付近から沿海州を通ってオホーツク海に進み、前線が宗谷海峡付近にのびる。前線の周辺ではやや強い風や強い風が吹き、波が高くなる所がある。北海道地方では4～5日は、強風や高波に注意。
- ⑤ 4～5日の850hPaの気温は、東北地方以南は10℃以上に、北海道地方では5℃以上に上昇し、平年より10℃前後高くなる。気温の上昇と2項③の降水の影響により雪解けの進む所がある。北～東日本の多雪地では5日にかけて、なだれや融雪に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：近畿・四国・九州北部5、その他広い範囲で3～4m。

③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西日本と北海道地方では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。